

一般社団法人 日本生態学会  
平成 27 年度第 4 回通常理事会議事録

1. 日時：2015 年 12 月 26 日（土）13:00～17:00
2. 場所：JAMSTEC 東京事務所 会議室
3. 出席者：
  - ・理事会構成員（20名・定足数10名以上）  
（理事）齊藤隆、可知直毅、岡部貴美子、石井励一郎、池田浩明、久米篤、古賀庸憲、長谷川雅美、半場祐子、中野伸一、吉田丈人、竹中明夫、矢原徹一、大手信人、浅見崇比呂、黒川紘子、宮下直、西廣淳、  
（全理事20名中、18名参加）  
（欠席理事）辻和希、巖佐庸
  - ・監事：小泉博、陶山佳久
  - ・オブザーバー：半谷五郎（大会企画委員長）
  - ・事務局：鈴木晶子
4. 議事概要：

定足数10名を超える18名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款第42条に従い齊藤隆会長を議長として議事を進行した。議事録署名者は、定款第46条に則り、齊藤隆会長、小泉博監事、陶山佳久監事とし、議事録作成者は岡部貴美子理事が担当する。

**報告事項**

1. 事務局報告（庶務・会計）
  - ・資料 1 に基づいて岡部専務理事より報告があった。
2. Ecological Research 編集委員会報告
  - ・資料 2 に基づいて久米編集長より報告があった。
  - ・シュプリンガーと来年から 5 年間の新契約が始まるが内容はこれまでと同じ。契約内容の途中変更は自由に行えるので随時状況見直しをする。
3. 日本生態学会誌編集委員会報告
  - ・資料 3 に基づいて古賀編集長より報告があった。
  - ・CiNii から J-Stage に移行が決まり今後は冊子体の廃止も視野に入れて検討する。
  - ・次期編集長として伊東明氏（大阪市立大学）より内諾を得たとの報告があった

#### 4. 保全生態学研究編集委員会報告

- ・資料4に基づいて長谷川編集長より報告があった。
- ・投稿についてすそ野を広げたことで投稿数が増えた。
- ・電子体の公開時期（現在発刊から2年後に公開）についてJ-stageへの移行もあり今後検討する。当面はすぐにオープンにはしない予定。

#### 5. 学術会議活動報告

- ・吉田理事より3月の仙台大会フォーラムを学術会議の公開シンポジウムとし一般公開する予定との報告があった。

#### 6. 大会準備状況報告

- ・資料5に基づいて半谷大会企画委員長から報告があった。
- ・シンポジウム数の減少について、提案時期が早くやり取りが煩雑なため自発的な提案が減っているのではないかとの意見があった。
- ・今後の大会の集会開催については大会あり方検討部会を中心に会員の意見も聞きながら進めていく。
- ・フォーラム数が多くなっていることから、整理は理事会で行うのが良いのではないかとの意見があった。

#### 7. 各種委員会報告

##### <キャリア支援委員会>

- ・資料6に基づいて半場理事より報告があった。
- ・生態学会が男女共同参画学協会連絡会の幹事学会にまわってくる可能性があるとの報告があった。

#### 8. 学会賞選考委員会報告

- ・近藤委員長が欠席のため、報告は省略された。
- ・学会賞受賞者からの総説がなかなか投稿されない実情が紹介された。

#### 9. 次々期会長候補・次期代議員選挙報告

- ・資料8に基づいて岡部専務理事より報告があった。明日から新代議員が就任する。
- ・東北地区選出の松木代議員より産休・育休により大学・研究業務から離れるため代議員の辞任の申し出があり新代議員に諮ることが報告された。

#### 10. 大会のあり方検討部会からの報告

- ・資料 9 に基づいて吉田理事より報告があった。今後は「応急処置が必要な事項」と「中長期的な事項」に取り組む。

#### 11. EAFES2016 韓国準備状況と 2018 日本開催について

- ・中野理事より、2018 年は、名古屋大学で開催（地区会とは別）、250 人くらいの規模、価格は高めに設定も可、大会長は京大霊長研の湯本貴和氏、実行委員長は名古屋大の中川美智子氏に内諾を得たとの報告があった。
- ・2016 年韓国については 4/19-22 に実施予定。事前の会議招集がなく状況が見えないが、日本でセッションを 10 ほど用意したほうが良いのではないかとの提案があった。

#### 12. その他（自然史学会連合総会報告・他）

- ・資料 10 に基づいて大手理事より報告があった。2017 年 1 月に群馬県立自然史博物館で行われる一般向け講演会では生態学会からもブースを出せたらよいのではないかと提案があった。
- ・齊藤会長より COP21 の各国生態学会の声明が提出されて協定が結ばれたことについて報告があった。
- ・齊藤会長より琵琶湖賞運営委員について 2 月に承認依頼するとの報告があった。

### 審議事項

#### 第 1 号議案 役員・代議員選任規則改正について

- ・資料 11 に基づいて岡部専務理事より説明があり審議されたが、規則は改正せずに現状のままとすることになった。

#### 第 2 号議案 学会賞規則改正について

- ・資料 11 に基づいて岡部専務理事より説明があり全会一致で承認された。

#### 第 3 号議案 ER 関連（機関リポジトリ許諾条件の改定・

今後の ER 運営・データペーパーのデータベース）

- ・機関リポジトリ許諾条件の改定について久米理事より提案があり全会一致で承認された。
- ・データペーパーの DOI の付与については引き続き検討をする。

#### 第 4 号議案 委員の承認について

- ・資料 13 および別紙資料の新規 ER 編集委員について全会一致で承認され

た。

#### 第5号議案 国際文献社への業務委託について

- ・資料14に基づいて池田理事より説明があり審議した結果、
  - 1 →承認
  - 2 →新案実施
  - 3 →現行案+講演取り消し
  - 4 →新案
  - 5 →承認
  - 6 (アンケート項目について) →属性は無料なので実施。男女参画の依頼項目+任期の有無。追加案があれば池田理事に個別に連絡。
  - 7 (受賞歴・審査員歴を会員情報に追加) →見積を確認し法外な金額でない(全体の10%以内)なら執行部一任で進めることが承認された。

#### 第6号議案 日本生態学会功労賞について

- ・功労賞について粕谷英一氏と竹中明夫氏の推薦があり承認された。

#### 第7号議案 キャリア支援専門委員会からの審議事項

- ・資料15に基づいて半場理事より説明があり、委員会の裁量で旅費・参加費を支給することが承認された。

#### その他

##### 1. 倫理規定について

- ・規定ではなく、理事会からのメッセージとして発信するのがよいのではないかとの会長提案があった。最終案を2月にまとめることになった。

閉会：以上の議事を終え、17時20分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、会長、監事がこれに記名押印する。

平成27年12月26日

会 長 : 齊藤 隆 (印)

監 事 : 陶山 佳久 (印)

小泉 博 (印)